

D X けん引人材育成事業に係る業務委託企画提案競技に関する質問について（回答）

令和8年5月7日

	質問内容	回答
1	<p>参加企業・参加者の募集について、県、関係機関、受託者の役割分担をご教示ください。</p> <p>仕様書では、戦略策定コース60社以上、実践コース20社以上、生成AI利活用講座延べ100名以上という目標が示されており、企画提案書では募集方法・周知方法等を具体的に記載することとされています。</p> <p>これらの参加企業数・参加者数に係るKPIについて、募集・集客の主たる実施主体及びKPI達成責任は、県、関係機関、受託者の間でどのように整理されていますでしょうか。</p> <p>あわせて、県ホームページでの告知、県内企業・関係団体への周知依頼、既存ネットワークを通じた参加勧奨、申込受付、参加者管理、未達時の追加募集対応等について、想定されている役割分担をご教示ください。</p>	<p>参加企業・参加者の募集・集客、また、関係団体への周知依頼・参加勧奨、セミナー等の申込受付・参加者管理・追加募集等は、委託業務として受託者が実施します。</p> <p>K P I は、受託者が業務を実施する上での達成目標です。</p> <p>県の広報媒体を活用した周知は、必要に応じて県が実施します。</p>
2	<p>戦略策定コースは「対面を基本」とされ、生成AI利活用講座は「対面及びオンライン」とされています。</p> <p>対面開催に係る開催地域、会場確保、会場費、必要備品・通信環境等の手配については、受託者の提案及び負担事項という理解でよろしいでしょうか。</p> <p>また、県有施設等の利用、県による会場候補の紹介、関係機関との調整支援等を予定されている場合は、その範囲をご教示ください。</p>	<p>ご理解のとおりです。</p> <p>なお、県から会場を指定することはありませんが、会場の情報を受託者へ共有することは想定されます。</p>
3	<p>実践コースの支援先企業20社以上については、戦略策定コースの参加企業より選定し、選定要件は「県と協議の上、決定する」とされています。</p> <p>支援先企業の選定について、受託者は選定基準案、評価項目、候補企業の整理等を行い、最終的には県との協議により決定する理解でよろしいでしょうか。</p> <p>また、選定に当たり、県として重視する観点や必ず含めるべき選定要件があればご教示ください。</p>	<p>ご理解のとおりです。</p> <p>実践コースの支援先企業選定に係る選定要件については、仕様書に記載のとおりですが、（別紙）「企画提案書作成に当たっての留意事項」に記載のとおり、実践コースは「研修を受ける社員等が（中略）「小さな成功体験」を体感できるような研修内容、実施期間」にて受託者が企画します。このことを踏まえ、コースの主旨とスケジュールに合致した企業を、県と受託者が協議して選定します。</p>